

看護職員の負担軽減及び 処遇改善に資する計画

本計画は、看護職員の負担を軽減し、専門性を最大限に発揮できる職場環境を構築することを目的としています。
「働きやすい環境づくり」と「チーム医療の強化」の2つの柱を中心に、業務の効率化、メンタルヘルス支援、多職種連携を推進します。

質の高いケアを支える「働きやすい環境づくり」



業務の効率化と 負担の軽減

夜勤前出勤の是正や重複業務の廃止を行い、ケアに集中できる時間を生み出します。



多様な働き方と 休暇取得の推進

時短勤務や有給休暇の積極的な取得を促進し、職員の活力を維持します。



心の健康と 安心のサポート

職場環境調査を通じて心理的安全性の高い職場を築き、復職支援も強化します。

チームで支える「安心の医療体制」



多職種との連携 (タスクシフト)

薬剤師や検査技師、クラーク等と業務を分担し、専門チームとして患者を支えます。



看護補助者の 増員と育成

介護福祉士やエイドアシスタントを増員し、看護と介護の役割を整理して体制を強化します。



適正な夜勤体制 の確保

ガイドラインに基づいた適切な人員配置と休息の確保により、夜間の安全を守ります。